

足尾の百年・第三部

足尾銅山閉山五十周年(2023秋・刊)

足尾は終わったのか？
谷中は過去か？
田中正造と向き合う旅となりました

今年2024年につき
併合から114年目



卒塔婆を慰霊碑と読んでいいのか、しばし眺めるひと時
訪れた年は2024年4月18日

足尾朝鮮人強制連行犠牲者慰霊碑

今年、2010年は(朝鮮併合100年)に当たります。

この併合は、武力で行われ、朝鮮から、日本人のための食料を奪い、同時に中国侵略の足場とするものでした。

当時の政府と古河は、連行した朝鮮人にむごい扱いをしましたが、朝鮮人と足尾の人温かい交流も「足尾の100年」にのっています。朝鮮の人が作るコムオン「唐からしとニンニクを練ったもの」はすごく美味しかったです。

親しくなった朝鮮人にぜひにとせがまれ、私の大きなラップのついた蓄音器をやり、大喜びされたことがあります」と親しい交流をなつかしんでいます。

*あかるい町・編集部

P217~218より*

卒塔婆
2017年
建立

風よ、
鳳仙花
の歌を
はこべ

証言集より

■栃木県実行委員会により1973年7月閉山の年建てられた。

●台座の石109個は死亡した人数

●石は足尾の中学生が日中友好を念じて運んだという。

(*隋想社より転記)

慰霊碑
痛恨の山河と詩うかぶ

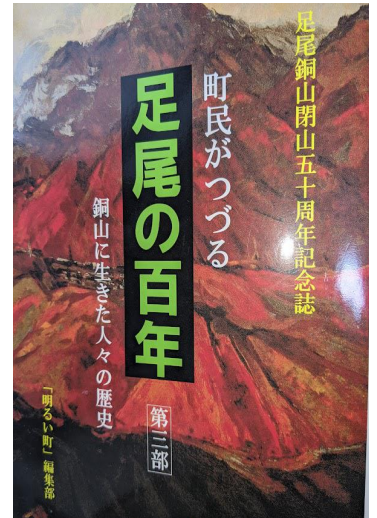
戸室智津子

*ほうせんか*とは

関東大震災時の朝鮮人などの虐殺を記憶する市民団体

昭和20年に古河の指示で朝鮮人600人を日本に連れてくるため釜山に向かった。

この人たちは、すべて強制収容された人たちだった。



中国人殉難烈士慰霊塔
高さ13m



すこし登った処に「足尾朝鮮人強制連行犠牲者慰霊碑」と木製の墓がありました。裏には日本朝鮮友好を念じて県民の会2017年8月建立と。なぜもっと立派なものにしないのか、と問うと古河が許可しないのです、とおっしゃいました。(安田朱美語る)

足尾銅山への強制連行外国人のうち、一番悲惨だったのは中国人です。戦前は中国人を「チャンコロ」と呼び、馬鹿にしてきました。、、、やがて終戦の引き揚げの日、リーダーが家に来て、父に何度もお礼を言い、板塀に釘で感謝の詩を彫りつけて行きました」と暖かい人間としての思いやりを語っています。

「あかるい町」編集部P219